

- 問1 北海道の農業統計において、1970年代後半から約40年間で、稲の作付面積と総収穫量が減少している一方で、単位面積あたりの収穫量が増加している現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 促成栽培の普及                      2. 農業生産性の向上                      3. 自給足率の低下                      4. 耕作放棄地の拡大
- 問2 北海道では、生産された生乳の多くが飲用ではなくバターやチーズといった乳製品の原料（加工用）として利用されています。このように、北海道で加工用としての割合が高い理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 政府の農業政策により、北海道産の生乳はすべて工業製品の原料として扱うことが法律で義務付けられているから。                      2. 大規模な牧草地で飼育される乳牛から取れる生乳は、小規模農場のものに比べて水分量が多く、飲用には適さない性質を持っているから。                      3. 北海道の気候は寒冷であり、冬場の生乳生産量が極端に減少するため、年間を通じて供給できる加工品に頼らざるを得ないから。                      4. 関東地方などの大消費地から離れているため、生乳のまま輸送するよりも、保存性を高めた製品に加工する方が効率的だから。
- 問3 日本の都道府県別の農業産出額において、品目別の割合を示した統計資料のうち、畜産の割合が約52.5%と過半数を占め、一方で米の割合が約12.2%にとどまっているという特徴を持つ都道府県はどこですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 新潟県                      2. 千葉県                      3. 宮崎県                      4. 北海道
- 問4 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。                      2. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。                      3. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため                      4. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。
- 問5 北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を利用して米の二期作が行われ、輸送用機械器具の出荷額が全国有数である。                      2. 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産が盛んである。                      3. 豚の飼育数は全国最多であるが、寒冷な気候のため小麦などの畑作はほとんど行われていない。                      4. 大都市への輸送に恵まれた近郊農業が中心で、国内航空乗客数は全国で最も少ない。
- 問6 日本で最も長い約4445kmの海岸線を持ち、砂の堆積によってできた砂州や砂嘴、陸繋島などの多様な地形が見られる都道府県における工業の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 瀬戸内海に面した立地を活かして、古くから造船業が盛んであり、現在は自動車の組み立て工場も多く進出している。                      2. かつては地域内で産出される石炭や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向けの特殊鋼などを生産している。                      3. 京浜工業地帯の中核として、輸入された原油を精製する石油化学コンビナートや、大規模な製鉄所が海岸沿いに密集している。                      4. 日本最大の自動車工業の拠点であり、製造品出荷額のうち輸送用機械が占める割合が極めて高く、関連工場が集中している。
- 問7 北海道の東部に位置する根釧台地などの寒冷な地域において、乳牛を飼育して生乳や乳製品を生産する農業を何といいますか。牧草などの飼料生産と組み合わせられていることが特徴です。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 放牧                      2. 果樹農業                      3. 促成栽培                      4. 酪農
- 問8 冬に降水量（降雪量）が多くなる北海道の日本海側の気候の特徴と、その発生理由について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 夏に南東からの季節風が南西からの寒流の上を通る際に冷却され、上昇気流が生じるため                      2. 夏に北西からの季節風が北東からの暖流の上を通る際に冷却され、上昇気流が生じるため                      3. 冬に北西からの季節風が南西からの暖流の上を通る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため                      4. 冬に南東からの季節風が北東からの寒流の上を通る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため
- 問9 1997年に施行された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が、それ以前の政策から大きく転換した点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. アイヌの人々に対して金銭的な補償を行うことで、すべての歴史的課題を解決する方針に転換した。                      2. アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。                      3. アイヌの人々を日本人に同化させることを目的とし、日本語教育を義務づける方針に転換した。                      4. アイヌの人々の居住地を北海道に限定し、伝統的な狩猟や漁業の権利のみを保障する方針に転換した。
- 問10 北海道東部の根釧台地に位置し、夏に濃霧が発生しやすい涼涼な気候を生かして大規模な酪農が行われており、農業産出額の大部分を乳用牛が占めている自治体はどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 北見市                      2. 新篠津村                      3. 別海町                      4. 夕張市
- 問11 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから                      2. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いため、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。                      3. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。                      4. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。
- 問12 石狩川流域では、かつて植物が完全に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地が広がっていました。この土地を大規模に開発し、農地や市街地として利用するために行われた工夫として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 地面の下にある岩盤を削り、土地を平坦にしてから地下水を注入する                      2. 周辺の山々から大量の水を流し込み、人工的な湖を作って水運を盛んにする                      3. 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う                      4. 大規模な植林を行い、地中の水分を吸収させて森林面積を拡大させる